



まつもと じゅん

# 松本純

中区・磯子区・金沢区  
まちかど  
政治版



松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

## 未曾有の「経済危機」にもたじろがない！ 麻生内閣は可能な政策を総動員します



▲経済の緊急事態に記者会見での総理の一言にも緊張感が走ります

「現在は100年に一度ともいえるべき国際的な経済危機にある。私は国内的な政局より国際的な役割を優先する」。麻生太郎首相はこう語って、解散・総選挙を先送りしてでも、金融危機・不景気対策に取り組む決意を表明しました。

麻生内閣は諸物価の高騰で国民生活が脅かされ、経済状況が厳しさを増す中で発足しました。このため、まず生活者重視の視点から「緊急総合対策」をまとめこれを盛り込んだ補正予算を成立させました。これによって、物価対策や中小企業の年末の資金繰り、雇用維持などにいち早く手を打ちました。

その直後に日本を襲った米国発の金融危機に対応するために、「金融機能強化法」の改正案を国会に提出しました。国内の金融機関が破綻すれば、危機は一気にパニックに突き進みます。これを回避するため、予防的に公的資金を注入することを大きな柱としました。資金枠を10兆円とする案も検討されています。これは公的資金の注入をためらったために、「空白の10年」というバブル崩壊後の不況を招いた、あのときの失敗を繰り返さないための強力な措置なのです。

私たちの暮らしを守るためには、定額減税や福祉特別給付金支給を年度内に実施すべく作業を急いでいます。麻生首相はさらに、住宅ローンの最大控除可能額を過去最高に引き上げることや、環境や高齢者に配慮したリフォーム減税などを検討するよう関係省庁に指示しました。いずれも苦しい家計を支援するとともに、内需を拡大して景気を支えるための政策です。

株価の急落や急激な円高に対しては、「緊急市場安定化策」を発動します。その第一弾として11月から、投機的な動きを牽制するために株の空売り規制が強化されます。また、銀行が保有する株式の国による買い取り再開の検討にも着手しました。「あらゆる手段を講じて市場の安定化と金融機能の円滑化を図る」という麻生首相の強い意志が反映された政策です。

未曾有の危機に対処するため、麻生内閣は可能な限りの政策を総動員します。発足直後に、これほどの危機に直面した内閣は、かつてなかったのではないのでしょうか。首相官邸ではピンと張り詰めた空気の中で、麻生首相の新しい決断が日々下されています。麻生首相にも、そして首相を支える私にも、危機にたじろいでいるひまはないのです。

松本議員の国会レポート⑤⑥ 北京訪問 ASEM (アジア欧州会合 第7回首脳会合)

「日本よ、しっかりしろ！」北京で感じた日本への「期待」の大きさ

平成20年

【10月23日(木)】

午後10時45分 ●北京首都空港着

午後11時20分 ●宿舎打合せ

【10月24日(金)】

午前6時50分 ●総理勉強会

午前7時40分 ●ASEAN+3首脳非公式

朝食会

午前9時15分 ●日韓首脳会議

午前10時20分 ●温家宝総理との会談

午前11時18分 ●胡錦濤国家主席との会談

午前11時55分 ●記念写真撮影・日中平和友好条約締結30周年記念レセプション

午後2時25分 ●日独首脳会談

午後4時 ●副長官ブリーフィング

午後4時・5時 ●開会式・第1回全体セッション

【10月25日(土)】

午前9時 ●第2回全体セッション

午前9時45分 ●日・パキスタン首脳会談

午前10時15分 ●第3回全体セッション

午後2時20分 ●日伊首脳会談

午後2時50分 ●第4回全体セッション

午後3時 ●日仏首脳会談

午後3時30分 ●閉会式

午後3時50分 ●副長官ブリーフィング打合せ

午後5時30分 ●内外記者会見

午後7時 ●在留邦人との懇談会

午後8時10分 ●北京発羽田へ

麻生首相のASEM (アジア欧州会合) 出席に随行して、10月23日から3日間、北京を訪れました。到着後、まずびっくりしたのは、北京の真っ青な空。梅原龍三郎画伯の名作「北京秋天」そのままの光景に感動しました。8月の北京五輪の開会式に出席したときに感じたスモッグの息苦しさはいったいどこへ と、日本大使館の人に尋ねると、私たちが到着する直前、大きなビルを揺るがせるほどの突風が吹いたとのこと。五輪以来の車や工場の規制継続もさることながら、やっぱり「自然は偉大なり」なのでしょう。

さて、会議ですが、麻生首相はアジア各国やフランス、ドイツ、イタリア各国首脳との首脳会談や全体セッションなど、スケジュールはびっしり。官房副長官の私も、打ち合わせや公式行事、記者ブリーフィングなど忙しきでは負けてはいません。海外だからこそ、一層強く副長官の役割の大きさと、その責任の重さを痛感させられました。

会議全体を通じて感じたのは、特に欧州各国首脳の日本に寄せる期待の大きさでした。世界が深刻な金融危機にさらされている中で、各国首脳は「日本よ、しっかりしろ。21世紀にふさわしい経済体制を構築するため、日本はリーダーシップをとれ！」と言っているようでした。また、中国の胡錦濤主席、温家宝首相との会談で、麻生首相は「友好」というお題目をとるのではなく、会談のリーダーシップをとって言うべきことを言い、同時に大局を見つ建設的な関係を築いていきました。そばで聞いていて、「これこそ麻生スタイル」と思いました。こうした姿勢が好感されたせいでしょうか、このあと開かれた「日中平和友好条約締結30周年記念レセプション」で、胡主席は75分間、麻生首相をつかまえて離さず、親密そうな会話が途切れることはありませんでした。



▲10/23 麻生総理ご夫妻に同行し、初めての政府専用機で北京空港へ！



▲10/24 温家宝首相との会談に続き、胡錦濤主席とも信頼を深める会談でした



▲10/25 日・パキスタン首脳会談で、友好関係を深めたギラニ首相と



▲10/25 43カ国37首脳との意見交換の成果は内外記者会見で報告されました

永田町日記

麻生さんの大好物は「ハンバーガー」

官房副長官就任以来、「初めての経験」が続いています。例えば、宮家への就任ご挨拶(10月1日)。各宮家の玄関に設けられた記帳台で「十月一日 就任御挨拶 内閣官房副長官 松本純」と書くだけで大緊張。麻生首相のメルマガ編集長にも就任しました。携帯電話で見る動画の扱いが難しいですね。ところで、麻生首相の一流ホテルでの夜の食事が話題になっていますが、一タ、私もご相伴にあずかりました。そのときの麻生首相のメニューは、生ビール半分、大好物のハンバーガー、食後にブランデーのオンザロック2杯。私はスパゲティーのミートソースでした。公務を終えて帰宅する前のリラックスタイム。これも麻生さんのライフスタイルなのです。(純)



まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に▶平成19年6月～自民党横浜市連会長▶平成19年8月～安倍改造内閣で自民党副幹事長に再任。▶平成19年9月～福田内閣で自民党副幹事長に留任。▶平成20年8月～福田改造内閣で自民党副幹事長に留任▶平成20年9月、麻生内閣で官房副長官の要職に任命され現在に至る